

# 最近の政治と日本の進路

福山大学客員教授、元経済企画庁長官

田中秀征

- \*今、解散すべきではない
- \*「田中」問題炸烈は時間の問題
- \*八分の不安に二分の期待
- \*学んだことは何か
- \*誰が決断をするのか
- \*大きい日中の認識のズレ
- \*雨降って地固まる
- \*第三極をつなぐミスターX
- \*政経塾出身は二世と同じ
- \*近視眼的な対応でなく



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日はお馴染みの田中秀征さんをお招きしました。去年の7月にいらしたときは野田政権が誕生した直後で、大震災の後ということもあって野田政権に対しては「復興内閣で頑張れ」と極めて厳しい話をされましたけれども、残念ながら危惧されたとおりの状況になってしまいました。

今日もまた民主党政権に対してはたいへん厳しい話があるかと思いますが、どういふふうに変わるべきかについてどうさばかれるか楽しみに聞きたいと思います。それでは秀征さん、よろしくお願いします。（拍手）

田中 皆さんこんにちは。昨年の7月以来と

りました。今、浅野さんが民主党に厳しい話をしたというので思い出していましたけれども、今の心境はそれとは微妙に違っていて、民主党はたたき潰したという感じなのです。それで後釜の自民党を見ると、これはまたちよつと民主党を励まさなければいけないと思うほどです。（笑）そういう非常に微妙な心境にあります。

この間、久しぶりに報道ステーションに出ました。それまでも何度か誘っていたのですけれども、なかなか日程が合わなかったのです。その報道ステーションで「解散はなるべく遅くしろ」と言いました。

私は自民党が「解散しろ、解散しろ」と言っているのはみっともないからもうやめろと言いたいです。結局、なぜ解散かというところ、（野